

平成26年度



新紺屋小学校だより

甲府市立新紺屋小学校
校長室：近藤修一
〒400-0016
甲府市武田1-3-34
Tel:252-2578
<http://www.shinkonyo-a-e.kofu-ymn.ed-jp/>

平成26年度 全国学力・学習状況調査の本校における調査結果

本年度の全国学力・学習状況調査は、4月22日に全国の小中学校で実施されました。本校でも6年生25名が全員参加しました。この調査は、本校の児童の学力や学習状況を把握・分析し、各教科における課題や生活状況の実態を明らかにすることにより、今後の指導内容や指導方法の改善や生活指導などに役立てることを目的としています。

1 調査の本校の概要

(1) 実施日 平成26年4月22日(火)

(2) 調査内容

○実施学年・人数 本校6年生 25名

○調査内容

〔教科に関する調査〕(国語・算数)

◇主として「知識」に関する国語(A問題)

・身に付けて於かなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容

・実生活に不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能

◇主として「活用」に関する問題(B問題)

2 教科に関する調査の本校の結果について

(1) 全体の結果

【平均正答率で見た本校の状況：全国・山梨県との比較】

平均正答率

	国 語		算 数		
	A問題	B問題	A問題	B問題	
全 国	72.9	55.5	78.1	58.2	
山 梨 県	70.1	55.0	77.0	57.6	
本 校	国との比較	○	○	○	◎
	県との比較	◎	○	◎	◎



※表の見方：○は上回っている，◎は5%以上上回っている。△は下回っている

○全体の概要

・教科に関する調査の平均正答率は、国語A問題・B問題及び算数A問題は全国平均と比べて、5%の範囲内にあり、全国とほぼ同等である。また、算数B問題は全国平均と比べて5%を上回り、全国よりよいと判断できる。

・全国の平均正答率との差で見ると、国語においては差が小さいが、算数においては5%近くの差があり、有意が認められる。

→ 全国の平均正答率との差で見ると、算数においてがんばっていると言える。

○「知識」(A問題)、「活用」(B問題) ごとに見た場合の傾向

・全国の平均正答率との差で見ると、国語においては「知識」に関するA問題の方が、「活用」に関するB問題より差が大きい。また、算数においては「活用」に関するB問題の方が、「知識」に関するB問題より差が大きい。

・正答率で見ると、国語・算数とも「知識」に関するA問題より、「活用」に関するB問題の方が正答率が低く、全国・県と同様の傾向が見られる。

→ 正答率で見ると、B問題に課題があると言える。

■国語

【本校の課題】

- 無解答率が全国及び県平均より高い。児童質問紙から判断すると、難しい課題に対してあきらめる傾向が若干見られる。(児童質問紙より解答時間が十分 国語B問題「ちょうどよかった」以上の割合 全国：50.6% 県：46.7% 本校：48%「解答を文章で書く問題があったがどう解答したか」のうち「最後まで書こうと努力した」の割合 全国：76.1% 県：77.8% 本校：72%)
- 基本的な知識や技能を実生活に様々な場面に活用することに課題がある。特に「立場を明確にして質問や意見を言うこと」「分かったことや疑問に思ったことを整理して、関係付けながらまとめて書くこと」ことに課題が見られる。

【改善のための方策】



- 「立場を明確にして質問や意見を言うこと」については

①国語科の授業の中での指導として

- ・相手に伝わりやすい発表の仕方についての学習を行う。
- ・(他教科の授業を含めて)「賛成」「反対」等立場を明確にした発言の仕方を習慣づける。

②日常的な活動の中での意図的・継続的な指導として

- ・1分間スピーチの活動において、新聞の記事等を題材として活用し、立場を明確にしたスピーチになるように指導する。

- 「分かったことや疑問に思ったことを整理して、関係付けながらまとめて書くこと」については

①国語科の授業の中での指導として

- ・説明文の単元において、分かったことを明らかにしながら要旨を書く学習を行う。

②日常的な活動の中での意図的・継続的な指導として

- ・(各教科において)学習感想を習慣づける。

■算数

【本校の課題】

- 基本的な知識や技能を実生活の様々な場面に活用することに課題がある。特に「示された情報を基に大小を判断し、その理由を記述する」「示された情報を整理し、筋道を立てて考え、求め方を記述する」ことに課題が見られる。

【改善のための方策】

- 「示された情報を基に大小を判断し、その理由を記述する」「示された情報を整理し、筋道を立てて考え、求め方を記述する」について
 - ・課題を解決する場面において、理由やその方法について自分の言葉で説明する学習を取り入れる。

※詳細については、[新紺屋小学校ホームページ](#)をご覧ください。

